

いちようだより

令和3年1月8日
天童中部小学校
校長 大谷 敦司

明けましておめでとうございます 本年もよろしくお願いたします

11月にご回答いただいた学校評価アンケートには、たくさんの保護者の皆様からご協力いただき、ありがとうございました。結果を集計し考察いたしましたので、お知らせいたします。

(回収率 94%)

I 児童アンケートの結果から

No.	項目	児童の回答割合				集計結果
		あてはまる	はいどちらかあてはまる	はいどちらかあてはまらない	あてはまらない	
1	学校の生活は毎日楽しい。	56%	33%	7%	4%	
2	授業で勉強していることがよくわかる。	41%	44%	11%	4%	
3	みんなに進んであいさつしている。	55%	31%	10%	4%	
4	児童会目標を意識して活動している。	34%	40%	18%	8%	

1 学校生活について

◇一人一人の思いを受け止め、きめ細やかな支援を

「学校が毎日楽しい」【項目1】については、「あてはまる」が56%（昨年度53%）「どちらかといえばあてはまる」が33%で、合わせると、89%になります。多くの児童が学校で楽しく生活していると答えていますが、あまり楽しくないと感じている11%の児童の思いを受け止めて対応していく必要があります。日常生活や個別面談等を通して、一人一人の思いを丁寧に受け入れながら、居心地のよい学級づくりを推進すると共に、個に応じたきめ細やかな支援に力を入れていきます。

◇社会に出て必要な「相手に伝わるあいさつ」に粘り強く

本校では、「あいさつ」を重点の一つに掲げ、全校で取り組んでいます。「みんなに進んであいさつしている」【項目3】の結果は、「あてはまる」が55%、「どちらかといえばあてはまる」が31%、昨年度とまったく同じ結果となりました。社会で求められる「相手に伝わる気持ちのよいあいさつができる」人間を育てるために、今後も継続して力を入れて粘り強く取り組んでいきます。

◇児童会目標「みんなで笑顔の空へ」

「児童会目標を意識して活動している」【項目4】については、「あてはまる・どちらかといえばあてはまる」と答えた児童が74%（昨年度80%）でした。今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のために活動が制限される状況がありましたが、計画委員が発案しZOOMでの代表委員会を実施するなど、子供たちなりに考えて工夫して活動することができました。

2 学習について

◇学校は子供たちの学力を伸ばすところ⇒日々の授業づくりに力を入れて

【項目2】「授業で勉強していることがよくわかる」については、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせると85%で、昨年度とほぼ同じ結果となっています。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年度当初から休校となり、学校が本格的に再開したのは、5月25日でした。休校中も子供たちが学習できるように、担任団で動画の教材づくり等に力をいれてきました。再開後は、学年のカリキュラムを見直し、見直しをもって意図的・計画的に授業を行い、子供たちの学力を確保すべく力を入れてきました。GIGAスクール構想に向けて、ICT機器（タブレット等）も授業で積極的に活用してきました。「学校は児童の学力をのばすところ」という共通認識のもと、今後も、日々の授業に力を入れて、「かしこい子」の育成に取り組んでいきます。

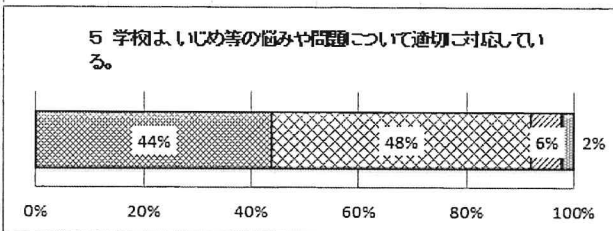
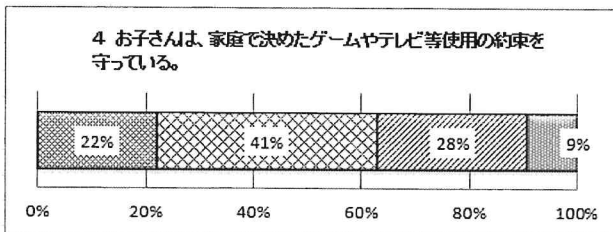
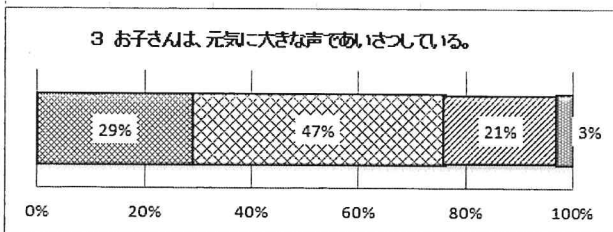
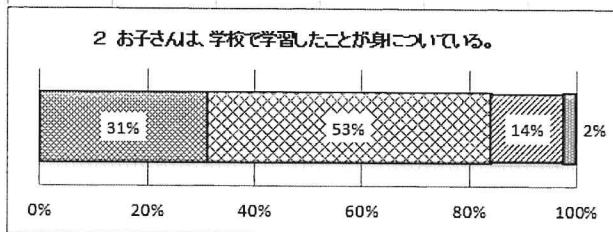
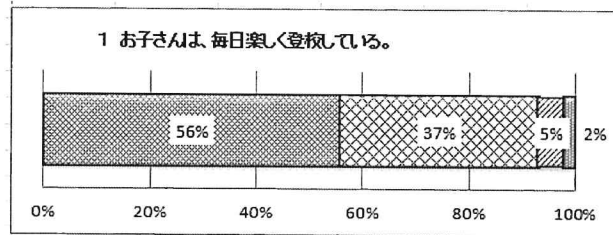
II 保護者アンケートの結果から

あてはまる
 ややあてはまる
 あまりあてはまらない
 あてはまらない

◇子供達の安心・安全を第一に

【項目1、5】93%の保護者の方から、お子さんが「毎日楽しく登校している」とご回答いただきました。また、「いじめ等に適切に対応している」についても、92%の方から「対応している」と捉えていただいています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に特に力を入れてきました。三密にならない授業の工夫、常時換気・湿度維持、手洗いや手指の消毒励行、メールやホームページでの呼びかけ等、感染予防に高い意識を持って対応してきたことを評価していただいたものと受け止めてまいります。保護者の皆様にも、毎日の検温・マスク着用等にご協力いただき、心よき感謝申し上げます。今後も、子供たちの安心・安全を第一に考えた学校運営に努め、子供達が毎日安心して登校し、元気に楽しく生活できるように支援していきます。



◇主体的に学ぶ力を

【項目2】84%の保護者の方から「学校で学んだことが身についている」とご回答いただきました。「ややあてはまる」が53%という結果でした。この数字は、半数以上の保護者の方が、「さらに学力を伸ばしてほしい」という願いの裏返しととらえています。本校では、コロナ下であっても、これからの社会で求められる学力を保障することをめざして、子供たちが主体的に学ぶことを何よりも大切にしていきます。これからも、教師が教える授業から、子供が自ら学ぶ授業に変えていくことに取り組んで参ります。

◇家庭・地域でも伝わるあいさつを

【項目3】あいさつの推進については、学校だけでなく、保護者・地域の皆様との連携が不可欠です。地域やご家庭でも子供達と積極的にあいさつを交わってつながっていただき、あいさつの輪が広がっていきますよう、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

【保護者の皆さんが、お子さんが伸びたと感じられる点】

「相手のことやまわりのことを考えて生活するようになってきた(329人)」「健康や安全に自分で気をつけるようになってきた(321人)」「自分から学習に取り組むようになってきた(297人)」「多少の困難があっても途中であきらめない粘り強さが出てきた(245人)」「その他(25名)」

【保護者の皆さんが、特に意識して努めた点】

「お子さんのがんばりをできるだけ認める(453人)」「お子さんと一緒に食事をとるようしたり、時間を作って話を聞いたりすること(361人)」「お子さんの困り感を、お子さん自身で乗り越えたり、解決することができるよう見守ったり励ましたりすること(354人)」「生活リズムづくりやメディアコントロールなどへ取り組み、健康な生活習慣づくり(286人)」「その他(17人)」

【学校と保護者で協力していきたい点】

※紙面の都合上、全体に関わるもののみ掲載しています。
 「コミュニケーション力」「相手のことを考えて行動する力」「自分で考えて行動する力」「挨拶や言葉遣いがきちんとできる力」を学校と一緒に伸ばしていきたい。また、「子供のちょっとした変化を共有して成長につなげていきたい」というご意見が出されました。【項目4】「家族で決めたメディア使用の約束をあまり守っていない」と37%の保護者の皆さんからご回答がありました。親子でメディアとのつきあい方について考えていくことは、避けられない課題となっています。